

参考資料

糸魚川市地域公共交通網形成計画

個別事業 一覧表 (令和 3 年2月時点)

個別事業 一覧

No	個別事業	進捗状況
1	立地適正化計画と連携した地域公共交通網の形成	実施中
2	地域づくりプランと連携した地域公共交通網の形成	実施中
3	地域公共交通の確保に要する運行費等の助成	実施中
4	北陸新幹線系魚川駅の利用促進	実施中
5	鉄道の観光利用促進	実施中
6	観光バス等の利用促進と新たな観光バスの整備	実施中
7	新たな観光タクシーの整備と利用促進	実施中
8	鉄道とバスネットワークの適切な役割分担と接続改善	実施中
9	主な利用目的に合わせた通学通勤利用と生活利用に二分化した運行形態の構築	実施中
10	JR大系線の二次交通の整備と利用促進	実施中
11	JR大系線ならではの新たな鉄道の楽しみ方や北陸新幹線との結節を生かした利用促進	実施中
12	えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインの新駅設置	実施中
13	新駅周辺地区と連携した新駅を生かす地域づくりの支援	検討段階
14	新駅の利用を促すアクセス方法の検討、整備	検討段階
15	バスネットワークの乗換拠点の設定、整備	実施中
16	バスネットワークの競合路線の見直し、集約	実施中
17	利用状況に合ったバスネットワークの運行形態、運行頻度の見直し	実施中
18	利用状況調査の実施	実施中
19	地域内移動の利便性向上	実施中
20	あさひまちバスとの連携強化	実施中
21	公共的交通から地域公共交通利用への転換	実施中
22	学校統合による通学方法の検討、確保	検討段階
23	二種免許等の資格取得に対する支援の検討	実施中
24	地区やNPOによる公共交通事業への支援	-
25	鉄道の新潟方面への利便性向上と利用促進	実施中
26	鉄道の上越地区内及び富山県新川地区への利便性向上と利用促進	実施中
27	高速バスの利便性向上と利用促進	実施中
28	駅舎等の利用環境改善にむけた検討	実施中
29	待合施設等の利用環境の改善	実施中
30	バス・タクシー車両のバリアフリー化	実施中
31	乗りたくなる車両のラッピング	実施中
32	わかりやすい乗換等の案内	実施中
33	定期的でわかりやすい情報提供	実施中
34	市民等に出向き寄り添う利用促進活動	実施中
35	バスの乗り方や公共交通利用マナーの学習機会の創出	実施中
36	イベントと連携した利用機会の創出	実施中
37	商業施設等と連携した利用促進	実施中
38	高齢者、障害者及び小中学生の地域公共交通を活用した外出等支援	実施中
39	高齢者の運転免許自主返納に対する支援	実施中
40	路線バス等運賃の検討（乗継運賃、わかりやすい運賃体系）	検討段階

■各事業の実施状況

施策	事業内容	進捗
①-1 まちづくりと連携した地域公共交通網の形成	<p>No. 1 立地適正化計画と連携した地域公共交通網の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市機能誘導区域や居住誘導区域においては、効率的に複数の機能を享受できるような地域公共交通網を形成します。 ○立地適正化計画は現在策定中であり、これに定められ推進される機能的・効率的な生活圏の形成との連携を図るため、必要に応じて地域公共交通網形成計画の見直しを行います。 <p>No. 2 地域づくりプランと連携した地域公共交通網の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域や郊外に不足する都市機能を享受できるよう、また都市機能が集まる市街地に不足する豊かな自然や居住空間などを享受できるよう、それぞれに不足する機能を補完するため、中山間地域や郊外と市街地を地域公共交通網で効率的につなぎます。 ○中山間地域等において地域に合った生活サービス機能を確保した「小さな拠点」と市街地、また「小さな拠点」と「小さな拠点」を地域公共交通でつなぎます。 ○「小さな拠点」において、「地区の将来像」に向かって地域づくりの具体的な取組を地区住民の総意により定めた地域づくりプランが策定されている場合、または策定しようとする場合には、これと連携し、地域づくりを支える地域公共交通網を形成します。 	実施中
①-2 市民生活を支える地域公共交通網の確保	<p>No. 3 地域公共交通の確保に要する運行費等の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常の市民生活を支える地域公共交通の確保に必要な運行費や車両購入費を助成します。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通確保対策運行費補助金 ・生活交通確保対策車両購入費補助金 ・生活交通確保対策立ち上がり支援補助金 ・コミュニティバス等運行費補助金 	実施中
①-3 交流人口の拡大に役立つ地域公共交通網の形成	<p>No. 4 北陸新幹線系魚川駅の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道事業者とタイアップした企画検討により北陸新幹線系魚川駅の利用促進を行います。 ○全国からの北アルプスや日本海への玄関口として、周辺市町村や関係団体との広域的な連携や利用促進に取り組みます。 ○北陸新幹線系魚川駅での観光客等来訪者に対応した二次交通の充実を図ります。 	実施中

実施状況	今後の対応 案
<p>○都市機能誘導区域や居住誘導区域において、鉄道、路線バスを含め、公共交通網を形成しています。</p> <p>○H30.3月に再編実施計画、H31年3月に立地適正化計画を互いに連携する形となるよう策定しました。</p> <p>×連携を意識した具体的な施策への反映までには至っておりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.3月 公共交通再編実施計画策定 ・H31.3月 立地適正化計画策定、都市マスタープラン改訂 	<p>【継続】</p> <p>計画の連携をさらに深められるよう調整を行う</p> <p>インフラコストなどを考慮した長期視点での戦略など検討</p>
<p>○市内の路線バスの見直しにより、中山間地域と市街地とのネットワークの効率化を行いました。</p> <p>▲各地区で地域づくりプランが作られ課題に取り組んでいるが、交通について課題と捉えている地区が少ない状況です。</p> <p>×地域づくりプランも全地区策定に至っておらず、具体的な連携も検討できておりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.10月 糸魚川地域の路線バス一部再編（根知線、今井線） ・H31.4月 糸魚川・能生地域の路線バス再編 ・R02.4月 青海地域の路線バス再編 ・R02.4月時点 地域づくりプラン策定 12件 	<p>【継続】</p> <p>各地区の地域づくりプランと網計画などとの連携と具体的な施策を検討</p>
<p>○補助金は左記の補助制度を現在も継続し新しい補助金も実施しています。</p> <p>▲一部補助金が増加傾向であり、将来にわたって公共交通網を維持していくためにも、効率化が必要です。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通確保対策補助金（運行費補助） H29～R01：合計 419,612 千円、平均 139,871 千円/年 ・生活交通確保対策補助金（車両購入費補助） H29～R01：合計 0 円 ・生活交通確保対策補助金（立ち上がり支援補助） H29～R01：合計 0 円 ・コミュニティバス等運行費補助金 H29～R01：合計 31,455 千円、平均 10,485 千円/年 ・高速バス確保対策補助金 H29～R01：合計 16,828 千円、平均 5,609 千円/年 ・えちごトキめき鉄道安定経営支援補助金 H29～R01：合計 159,364 千円、平均 53,122 千円/年 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢等を勘案し、実情に適した補助制度への修正を継続する。 ・新型コロナウイルスに伴う新しい生活様式の影響について動向を注視
<p>○北陸新幹線開業5周年など鉄道事業者との連携実施しました。</p> <p>○駅から近隣観光施設への路線バス接続を実施しました。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント…鉄道祭り（開業5周年、大糸線60周年） ・利便性…新幹線利用者への96時間駐車無料 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線敦賀延伸を見据えた利用促進を継続

	<p>○魅力的な観光商品の開発や、情報発信をします。</p>	
	<p>No. 5 鉄道の観光利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沿線市町村や関係団体等との広域的な連携と、鉄道事業者とタイアップした企画検討により、沿線市町村の来訪者が鉄道を介して周遊できるよう、情報発信や鉄道イベント等を実施します。 ○鉄道事業者とタイアップした企画検討により、鉄道の観光的な利用促進を行うます。 ○えちごトキめき鉄道のリゾート列車「雪月花」の利用促進を実施します。 ○インバウンドに対応するため、外国語対応などの受入体制の整備を進めます。 ○新たな需要を掘り起こすため、サイクルトレインの導入や活用方法等について検討します。 ○糸魚川ユネスコ世界ジオパークのジオサイトでもあるJR大糸線の観光活用をジオパーク活動の一環として取り組みます。 ○駅や沿線で花いっぱい運動や魅力の発信を実施します。 ○「糸魚川ジオステーション ジオバル」のジオラマ鉄道模型ステーションやキハ52及びキハ52 待合室を活用した鉄道ファンの誘客に努めます。 	<p>実施中</p>
	<p>No. 6 観光バス等の利用促進と新たな観光バスの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内に点在するジオサイトや観光施設への移動ニーズに対応し、観光客等来訪者にとっても利用しやすい観光二次交通として、バスを有効に活用します。 ○地域公共交通とつながりが無かった観光施設（地）に一定の需要が見込める場合には、期間限定の観光シャトルバスを運行します。 ○バスの輸送力を生かし観光施設等の周遊に便利な糸魚川駅発着の定期観光バスや観光イベントに合わせたシャトルバス、シーズン限定の観光路線バス等の利用促進を強化します。 	<p>実施中</p>
	<p>No. 7 新たな観光タクシーの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タクシーを活用した糸魚川駅から市内に点在するジオサイトや観光施設への周遊型観光二次交通メニューを交通事業者とタイアップした企画検討により整備します。 ○観光タクシーを観光客等来訪者にわかりやすく周知・案内します。 	<p>実施中</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・接続調整…ダイヤ改正時に路線バスとの接続を確認、調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスに伴う新しい生活様式の影響について動向を注視
<p>○能生の「かにや横町ツアー」などリゾート列車「雪月花」の利用促進を実施しています。</p> <p>○ジオラマ鉄道模型ステーションなど、鉄道ファンの誘客を実施しています。</p> <p>○大糸線の利用促進を目的とした外郭団体を作り、活性化に向けた事業を実施しております。</p> <p>○サイクルトレインなどの企画列車を運行し新たな利用者獲得を実施しました。</p> <p>《実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えちごトキめき鉄道リゾート列車「雪月花」 H30～「雪月花」カニや横丁ツアー 大糸線 60 周年記念 大糸線への乗入れ ・企画列車 サイクルトレイン運行（トキ鉄、大糸線） ・北アルプス日本海広域観光連携会議 R01 大糸線、トキ鉄、あいの風でのスタンプラリー実施 輸行バックの設置 ・ジオバル 魅力アップ R02. 8～ トワイライトエクスプレス モックアップ展示 R02. 10～ 黒姫号 展示 ・ジオバル 来場者数 H29～R01：合計 896,120 人、平均 298,707 人/年 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者などの関係者と連携を取り
<p>▲観光視点での路線バスの大きな変更は特にありませんでした。</p> <p>○観光バスを定期的に運行しました。また、シーズン限定の観光シャトルバスも運行しました。</p> <p>○長野県側のインバウンド需要を見込んだシーフードシャトルバスを設定しました。</p> <p>○登山利用者向けのバス、乗合タクシーを運行しました。</p> <p>＜実施＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期観光バス H29～R01 合計 826 人、平均 275 人/年 ・臨時シャトルバス（観光） H29～30 合計 537 人 ・シーフードシャトルバス H29～R01 合計 486 人、平均 162 人/年 ・蓮華線（白馬岳登山バス） H29～R01 合計 6,700 人、平均 2,233 人 ・雨飾山登山タクシー H29～R01 合計 490 人、平均 163 人 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況を分析し、さらなる利用促進を検討
<p>○観光タクシーを継続実施しております。</p> <p>＜実施＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光タクシー 設定 駅から観タクン（JR）、観光ガイド付きタクシー（観光協会） 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況を分析し、さらなる利用促進を検討

<p>②-1 鉄道とバスネットワークの適切な役割分担</p>	<p>No. 8 鉄道とバスネットワークの適切な役割分担と接続改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道を幹線、バスネットワークを支線と位置付け、バスネットワークが鉄道と競合することをできる限り減らします。 ○特に、新駅整備後の通学通勤時間帯の東西方向の移動は、鉄道利用を優先的に促します。 ○鉄道とバスネットワークの接続は次の優先順位で利用状況や乗換状況を考慮し改善します。 <ul style="list-style-type: none"> ①糸魚川駅 ②能生駅、青海駅 ③その他の市内駅（乗換状況による） <p>※新駅は、乗換状況により判断する。</p>	<p>実施中</p>
	<p>No. 9 主な利用目的に合わせた通学通勤利用と生活利用に二分化した運行形態の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝夕の需要の多い通学通勤時間帯と、日中の通院や買い物等の需要が少ない生活時間帯とに分けて、それぞれの利用目的等に合った運行形態（方法）に変更します。 <p>【通学通勤利用】：東西方向の移動は鉄道利用を優先的に促し、路線バスで補完し、高校等の付近までつなぎます。</p> <p>【生活利用】：3地域内それぞれの移動を基本としたコンパクトな運行系統に再編します；地域間移動は、乗換拠点での乗換によりつなぎます。</p>	<p>実施中</p>
<p>③-1 JR大糸線の二次交通の整備と利用促進</p>	<p>No. 10 JR大糸線の二次交通の整備と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道事業者とタイアップした企画検討により、バスネットワークを整備し、利用促進を図ります。 ○JR大糸線と沿線の観光施設や白馬岳、雨飾山等を観光ニーズに応じて既存バスネットワークの拡充や新規バスネットワークでつなぎます。（観光二次交通） ○JR大糸線の市内各駅と沿線の「小さな拠点」を地域特性に応じてバスネットワークで効率的につなぎます。（生活交通） 	<p>実施中</p>
	<p>No. 11 JR大糸線ならではの新たな鉄道の楽しみ方や北陸新幹線との結節を生かした利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沿線市町村や関係団体等との広域的な連携により、双方の来訪者が鉄道を介して周遊できるよう商品造成や、JR大糸線を利用した鉄道イベントの鉄道事業者とタイアップした企画検討、情報発信等を実施します。 ○沿線市町村や関係団体等と連携し、海と山をつなぐJR大糸線ならではの新たな鉄道の楽しみ方やおもてなしを提供します。 ○沿線住民や関係者等と連携し、利用促進を図ります。 ○北陸新幹線との結節を生かした利用促進を図ります。 	<p>実施中</p>
<p>④-1 えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインの新駅設置</p>	<p>事業12 えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインの新駅設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインに新駅を2駅設置します。 ○新駅設置予定地は、押上地区と今村新田地区です。 ○新駅に付帯する便益施設の整備も検討します。 	<p>実施中</p>
	<p>事業13 新駅周辺地区と連携した新駅を活かす地域づくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新駅設置予定地の周辺地区や住民と連携し、新駅を活かす地域づくりを支援します。 ○新駅設置予定地の周辺地区が策定する地域づくりプランの作成を支援します。 ○快適な駅利用に寄与する環境整備を支援します。 	<p>検討段階</p>

<p>○平成31年4月(糸魚川・能生地域)、令和2年4月(青海地域)に、鉄道とバスの役割分担を含め、市内の路線バスの全体的な再編を実施しました。</p> <p>▲鉄道とバスの重複や接続改善については、十分な検討と対応ができておりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.10月 糸魚川地域の路線バス一部再編(根知線、今井線) ・H31.4月 糸魚川・能生地域の路線バス再編 ・R02.4月 青海地域の路線バス再編 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる役割分担と接続改善を実施
<p>○平成31年4月(糸魚川・能生地域)、令和2年4月(青海地域)の路線バスの再編において、利用ニーズに合わせた運行時刻、運行経路の見直しを実施しました。</p> <p>▲二分化した運行形態に対して、利便性を低下させないための乗継案内などの対応が不足しています。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.10月 糸魚川地域の路線バス一部再編(根知線、今井線) ・H31.4月 糸魚川・能生地域の路線バス再編 ・R02.4月 青海地域の路線バス再編 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編後の利用状況や利用者からの意見を踏まえ、利便性向上に努める
<p>○根知線など、一部の便でJR大糸線と接続させました。</p> <p>○登山タクシーや路線バス蓮華線など登山関連の観光ニーズを考慮した交通確保を実施しました。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓮華線(白馬岳登山バス) H29~R01 合計6,700人、平均2,233人 ・雨飾山登山タクシー H29~R01 合計490人、平均163人 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より大糸線との接続を周知し、利用促進を行う
<p>○活性化を目的とした外郭団体の設立し、大糸線を利用したツアーやイベントを実施しました。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大糸線活性化協議会 …H31.2月設立 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな取組みも始まり、今後の定着と発展を促す
<p>○押上地区については、新駅が今年度開業予定です。</p> <p>▲今村新田地区については、H29年度に「当面の間、先送り」との方針としました。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・押上地区の新駅整備 …R03.春開業に向け工事進行中 ・今村新田地区の新駅整備 …先送り(H29年度に方針転換) 	<p>【一部見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新駅の利用状況を分析し、継続検討
<p>○押上地区の新駅では、駐輪場の整備や駐車場の整備を予定しています。</p> <p>○地区代表と意見交換し、地域づくりとの連携を図っています。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・押上地区との意見交換 …継続実施中 	<p>【一部見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新駅の利用状況を分析し、継続検討

	<p>事業14 新駅の利用を促すアクセス方法の検討、整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新駅へのアクセス向上のための周辺道路や乗降スペースの整備を行います。 ○新たな需要の掘り起こしや利便性向上を図るため、新駅へのアクセス方法としてバスネットワークを検討し、整備します。 	検討段階
⑤-1 バスネットワークの乗換拠点の設定と効率的な形成 (競合路線の見直し、集約)	<p>事業15 バスネットワークの乗換拠点の設定、整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○糸魚川市の玄関口であり、最大の交通結節点である糸魚川駅と、次に乗降者数が多い糸魚川総合病院は、2大乗換拠点（ハブバス停）として機能しており、機能を強化します。 ○能生地域及び青海地域の乗換拠点の位置について、調査・検討します。 ○乗換拠点の位置が決定したら、安全・安心で快適な待合環境を整えます。 	実施中
	<p>事業16 バスネットワークの競合路線の見直し、集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乗換拠点を生かした、長大路線のコンパクト化や、競合している運行系統を集約します。 例えば、能生・糸魚川・青海地域を繋ぐ路線バス運行区間や、路線バスとコミュニティバス・乗合タクシーが競合する区間などが対象となります。 ○複雑で多すぎる運行系統をわかりやすく整理・集約します。 	実施中
	No. 9 主な利用目的に合わせた通学通勤利用と生活利用に二分化した運行形態の構築【再掲】	/
	<p>事業17 利用状況に合ったバスネットワークの運行形態、運行頻度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用状況に合った運行形態に見直します。 例えば、路線バスを平日毎日運行すること等が非効率となる運行系統は、コミュニティバスや乗合タクシーの運行に転換します。また、コミュニティバス、乗合タクシーで一部実施している予約制を拡充します。（デマンド化） ○利用状況に合った運行頻度に見直します。 例えば、現在の運行頻度が非効率な運行系統は、利用状況に合わせた必要不可欠な便数に精査します。逆に、運行系統のコンパクト化や運行の効率化により、利用の増加が見込める場合は、運行頻度を高めることも検討します。 ○見直しの基準を明らかにします。収支率や利用者数等により、わかりやすい基準を設けて、利用促進や見直しの目安とします。 	実施中
	<p>事業18 利用状況調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでも毎年実施している駅やバス停留所の乗降量調査のほか、利用目的や目的地、利用区間、利用頻度などについても必要に応じて調査を実施します。 	実施中

<p>・押上地区の地域づくりプラン …地区と相談中</p>	
<p>○押上地区の新駅では、一部バス路線の運行経路の見直しを予定しています。</p> <p><実施></p> <p>・R3. 春ダイヤ改正時に一部改正予定</p>	<p>【継続】</p> <p>・新駅の利用状況を分析し、継続検討</p>
<p>▲糸魚川駅および糸魚川総合病院については現状の環境での乗換を実施していません。</p> <p>▲能生地域においては能生案内所を乗換拠点と位置づけ。青海地域は継続検討しております。</p> <p>○利用者のご意見や乗降状況の把握、関係機関との意見交換を実施しています。</p> <p><実施></p> <p>・糸魚川総合病院との打合せ 実施</p> <p>・路線バスアンケート …R01、02 実施</p>	<p>【継続】</p> <p>・乗降状況の把握を行い、環境整備が必要な乗換拠点については対応を検討する</p>
<p>○平成 31 年 4 月（糸魚川・能生地域）、令和 2 年 4 月（青海地域）の路線バスの再編において、糸魚川駅や糸魚川総合病院など乗換拠点を生かした運行経路の見直しを実施しました。</p> <p>▲コミュニティバス等との競合解消は継続して調整していきます。</p> <p>▲運行系統数は、系統統合により減少したが系統分割により増加したため大きな減少となっております。</p> <p><実施></p> <p>・H30. 10 月 糸魚川地域の路線バス一部再編時に根知線西廻り、東廻りの 2 系統を 1 系統に集約</p> <p>・H31. 4 月 糸魚川・能生地域の路線バス再編 能生線東廻りを島道線に統合 蓮台寺線を市街地巡回線等に統合</p> <p>・R02. 4 月 青海地域の路線バス再編</p>	<p>【継続】</p> <p>・再編後の利用状況や利用者からの意見を踏まえ、利便性向上に努める</p>
<p>-再掲のため省略-</p>	<p>-再掲のため省略-</p>
<p>○平成 31 年 4 月（糸魚川・能生地域）、令和 2 年 4 月（青海地域）の路線バスの再編において、運行経路、運行頻度の見直しを実施しました。</p> <p>○平成 30 年 3 月に再編実施計画を策定し、路線バスの運行形態や運行頻度の見直し方針を掲載しました。</p> <p>×再編実施計画に記載のトリガーや見直しフローを使った運行形態の変更までの分析検討まで至っておりません。</p> <p><実施></p> <p>・H30. 10 月 糸魚川地域の路線バス一部再編（根知線、今井線）</p> <p>・H31. 4 月 糸魚川・能生地域の路線バス再編</p> <p>・R02. 4 月 青海地域の路線バス再編</p>	<p>【継続】</p> <p>・利用状況を継続的に把握し、利用状況にあった運行への見直しを継続する</p>
<p>○継続的に、バス停留所の乗降量調査を実施しています。</p> <p>○路線バス利用者アンケートにより利用実態と改善点の把握を継続実施しています。</p> <p>▲調査結果の分析や有効活用ができておりません。</p>	<p>【継続】</p> <p>・地区や利用者の声を反映する仕組みづくりを検討する</p>

	<p>事業 19 地域内移動の利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日中は地域間を横断する長大路線を、乗換を前提とした地域ごとのコンパクトな路線に再編します。 ○地域内移動に便利な運行ダイヤを編成します。 ○コンパクトな路線には、コンパクトな車両による運行を促進します。 	実施中
	<p>事業 20 あさひまちバスとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市振地区に乗り入れている「あさひまちバス」及び「あさひまちバス」を運行している朝日町と連携を強化し、利便性の向上に努めます。 ○高齢者、障害者以外に対して、市内路線バスに適用される割引定期券と同等の利用者負担軽減を図る場合は、「あさひまちバス」の利用においても適用を検討します。 ○「あさひまちバス」と競合している公共的交差（医療受診者送迎）を廃止します。 ○コミュニティバスきらら青海～玉ノ木線について、地域ニーズや利用状況に合わせ、競合区間の解消を検討します。 ○高齢者、障害者に対して、市内路線バスに適用される割引定期券と同等の利用者負担軽減を「あさひまちバス」の利用においても適用します。 	実施中
⑤-2 公共的交差から地域公共交通利用への転換	<p>事業 21 公共的交差から地域公共交通利用への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人の輸送については、原則、地域公共交通利用を促進し、市が実施している公共的交差を削減します。 ○貸切バス等によるスクールバス運行は、保護者や地域の理解を得た上で、できる限り削減し、地域公共交通を利用した通学に転換します。 ○朝夕のバスネットワークの運行ダイヤは、通学利用を主に編成します。季節別の下校時刻が設定される場合は、季節別ダイヤも検討します。 ○市町合併以前から実施されてきた無料送迎「ふれあい送迎」及び「医療受診者送迎」を廃止し、これに代わる地域公共交通利用を促します。 	実施中
	<p>事業 22 学校統合による通学方法の検討、確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度末で閉校する浦本小学校と市振小学校の児童の、統合先小学校への通学方法については、地域公共交通を利用した通学を優先的に検討します。 ○地域公共交通を利用した通学ができるよう、運行ダイヤを検討します。 ○地域公共交通を利用した通学が困難な場合に限り、スクールバスを運行します。 	検討段階

<p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス乗降調査 …運行事業者が毎年4回実施 ・路線バスアンケート …R01、02実施 	
<p>○平成31年4月(糸魚川・能生地域)、令和2年4月(青海地域)の路線バスの再編において、コンパクトな路線に再編しました。</p> <p>○幅員が狭い経路を運行できるコンパクトな車両を導入し、利便性向上につながる経路変更や運行しています。</p> <p>▲中央大通り線の新設以外は、ダイヤの調整による利便性向上を実施しました。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H31.4月 糸魚川・能生地域の路線バス再編時に長大路線(青海能生線、能生線(横町5丁目行き))を分割 その他路線も一部を乗継拠点までに経路短縮 中央大通り線を新設し利便性向上 ・R02.4月 青海地域の路線バス再編 一部を乗継拠点までに経路短縮 買い物ニーズを踏まえた経路の変更 ・路線バス小型車両の導入 H30 4台 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内移動の充実に ついて検討する
<p>○高齢者、障害者向けのあさひまちバス利用時の支援制度を継続実施しています。 ×コミュニティバスとの接続については、調整できておりません。</p> <p>▲医療受診者送迎については、重複解消にむけた調整を継続しています。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町との打合せ ・高齢者、障害者お出かけ支援(あさひまちバス券) H29～R02:合計213件 850千円助成 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさひまちバスとの 接続について改善を 検討
<p>○平成31年4月(糸魚川・能生地域)、令和2年4月(青海地域)の路線バスの再編において、一部のスクールバスを廃止し、路線バスの経路、時刻をスクールバス対応にしました。</p> <p>○利用が見込めることから路線バスでの運行を行い、ふれあい送迎を廃止しました。</p> <p>▲医療受診者送迎は、あさひまちバスと関連するため調整を継続しています。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H31.4月 糸魚川・能生地域の路線バス再編時に スクールバスの一部を路線バス利用に転換 ふれあい送迎廃止し路線バス運行実施 ・R01.秋 通学利用時間帯の遅延解消のためダイヤ改正 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況を踏まえ、 さらなる合理化につ いて検討する
<p>▲スクールバスの運行状況を把握し、路線バスでの運行について再度検討調整を検討しております。</p> <p>▲教育委員会と学校統合等の情報共有し、公共交通への利用をうながしコスト削減を継続検討します。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の把握と情報共 有により合理化を検 討する

<p>⑤-3 バスネットワークにおける運転士確保・育成への支援の検討</p>	<p>事業 23 二種免許等の資格取得に対する支援の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バスネットワークを支える大型二種免許や二種免許を有する運転士が不足しているため、交通事業者が運転士を確保・育成する場合や、個人がそれらの免許取得により市内交通事業者で就労する場合の資格取得費に係る支援について検討します。 ○大型二種免許や二種免許の取得に必要な講習等が市内では受けられないため、上記以外の支援についても検討します。 	<p>実施中</p>
	<p>事業 24 地区やNPOによる公共交通事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地区やNPOが、新たな地域公共交通の担い手として地域に必要な事業に取り組む場合は、その立ち上げに向けて必要な支援を実施します。 ・生活交通確保対策立ち上がり支援補助金 	<p>-</p>
<p>⑥-1 鉄道の観光利用促進</p>	<p>事業 5. 鉄道の観光利用促進【再掲】</p>	<p>/</p>
<p>⑥-2 点在するジオサイトや観光施設をつなぐ観光二次交通の整備</p>	<p>事業 6. 観光バス等の利用促進と新たな観光バスの整備【再掲】</p>	<p>/</p>
	<p>事業 7. 新たな観光タクシーの整備と利用促進【再掲】</p>	<p>/</p>
<p>⑦-1 鉄道の利便性向上と利用促進</p>	<p>事業 25 鉄道の新潟方面への利便性向上と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高度医療施設をはじめとする高次都市機能が集中する新潟市と当市を直接つなぐ快速列車が、平成 29 年 3 月 4 日付けダイヤ改正で運行とりやめとなったため、これに代わる運行ダイヤの利便性向上を図ります。 ○鉄道を利用して新潟方面に行く際に便利な乗換などをわかりやすく周知します。 ○県庁所在地への移動の利便性向上を、県と連携して働きかけます。 	<p>実施中</p>
	<p>事業 26 鉄道の上越地区内及び富山県新川地区への利便性向上と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○上越地区内での高度医療施設をはじめとする高次都市機能や高校などが集まる上越市高田地区と当市を直接つなぐ列車が無い場合、えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインとはねうまラインの直江津駅での乗換改善など利便性向上と利用促進を図ります。 ○県境で接する富山県新川地区の高度医療施設をはじめとする高次都市機能や高校などがある朝日町方面への乗換改善など利便性向上と利用促進を図ります。 	<p>実施中</p>

<p>○資格取得について支援制度拡大により二種免許等への支援を実施しています。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型運転免許等取得支援補助金（H30 から実施） H30～R01：合計 174 件 8,776,000 円助成 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況を踏まえ、対応する
<p>▲特段、新たな取組みがありませんでした</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<p>-保留-</p>
<p>-再掲のため省略-</p>	<p>-再掲のため省略-</p>
<p>-再掲のため省略-</p>	<p>-再掲のため省略-</p>
<p>-再掲のため省略-</p>	<p>-再掲のため省略-</p>
<p>○新潟県と連携し、鉄道事業者へ利便性向上の要望活動を実施しました。</p> <p>○外郭団体が作成するポケット時刻表に新潟方面への鉄道乗換を記載しています。</p> <p>×状況の改善には至っておりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県および JR へ毎年要望提出 ・ポケット時刻表 日本海ひすいライン等利用促進協議会作成のポケット時刻表へ鉄道乗継での新潟方面への移動を毎年掲載 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況改善に向けた取り組みを継続する
<p>○利用促進に向けて、ダイヤの見直しを実施しています。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トキ鉄 高田方面へは直通列車が 1 便運行中（泊→直江津→新井） 富山方面へは富山県新川地区（泊駅）まで直通列車運行中 ・その他 相互乗り入れにより、金沢駅までの直通列車および富山駅までの直通列車がそれぞれ 1 往復 2 便運行中 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる改善を検討する

<p>⑦-2 高速バスの利 便性向上と利 用促進</p>	<p>事業 27 高速バスの利便性向上と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内の高速バスのりば周辺の既存パークアンドライド駐車場の周知を強化し、新たなパークアンドライド駐車場の確保について検討します。 ○利用が落ち込む時期限定の割引運賃や利用者インセンティブなどの利用促進策について検討します。 ○高度医療施設をはじめとする高次都市機能が集中する新潟市と当市を直接つなく高速バスを確保維持するため、新潟県と連携し、必要な運行費を助成します。 <ul style="list-style-type: none"> ・高速バス確保対策補助金 ○運行ダイヤや運行経路がニーズに合っているか検証します。 ○現状では、新潟市と当市を乗換なしでつなく唯一の路線であるため、特に高齢者や若年層にわかりやすく情報提供するなどの利用促進を図ります。 	<p>実施中</p>
<p>⑧-1 駅舎等の利用 環境改善に向 けた検討</p>	<p>事業 28 駅舎等の利用環境改善に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内鉄道駅の多くに存在する移動経路や駅設備の段差や階段等のバリアについて、長期的な視点に立った必要性和改善策を関係機関と検討します。 	<p>実施中</p>
<p>⑧-2 待合施設等の 利用環境改善</p>	<p>事業 29 待合施設等の利用環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通利用促進のため、自治会や利用者団体等が路線バス停留所待合室や駅駐輪場を建設・修繕をする場合に、それに要する経費に対し支援します。 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関利用促進事業補助金 	<p>実施中</p>
<p>⑧-3 乗りやすく、 乗りたくなる 車両の導入・ 更新</p>	<p>事業 30 バス・タクシー車両のバリアフリー化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○路線バス車両の低床小型化を図るため、ワンステップバスまたはノンステップバスへの更新を促進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワンステップバス 現状 6 両 → 計画 11 両以上 ・ノンステップバス 現状 3 両 → 計画 3 両以上 ○タクシー車両のバリアフリー化を図るため、高齢者や妊産婦、子供連れ、そして車いすの方（車いすのまま乗車することを想定）など誰もが利用できるユニバーサルデザイン構造をもった車両の導入を促進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉タクシー 現状 1 両 → 計画 1 両以上 ・ユニバーサルデザインタクシー 現状 0 台 → 計画 1 両以上 	<p>実施中</p>
	<p>事業 31 乗りたくなる車両のラッピング</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内各地域を移動する地域公共交通を生かし、見て楽しく、周知に役立つ車両ラッピングを施します。 	<p>実施中</p>

<p>○運行を維持するため、運行欠損額を新潟県と連携し助成しています。</p> <p>○県内高速バスのラッピングを実施しました。</p> <p>○県内高速バス利用者へアンケートを実施しニーズの把握に努めました。</p> <p>○外郭団体が作成するポケット時刻表にダイヤを掲載しました。</p> <p>▲高速バス P&R 駐車場は早川高速バス停のみ整備済みです</p> <p>▲安定的な利用者数の増加につながる施策を検討しています。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速バス確保対策補助金 H29～R01：合計 16,828 千円、平均 5,609 千円/年 ・バスラッピング R01 カニのラッピングによる糸魚川市の PR 実施 ・アンケート H31.3 月に高速バス利用者に対してアンケート実施 ・ポケット時刻表 日本海ひすいライン等利用促進協議会作成のポケット時刻表へ高速バスダイヤを毎年掲載 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進と利便性向上に向けた対応を継続検討
<p>○押上地区に作る新たな駅についてはバリアフリーへ配慮し建設中です。</p> <p>▲新たにバリアフリーに関する計画を検討中です。</p> <p>×既存駅舎等についてはバリアフリー化対応は進んでおりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動等円滑化促進方針協議会 …H31.4 月設置 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多額の経費が掛かることから事業者への協力を依頼するとともに具体的な計画について検討する
<p>○支援制度の継続実施しております。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関利用促進事業補助金 H29～R02：合計 2 件 392 千円助成 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意向に応じ支援を継続する
<p>○タクシー車両のバリアフリー化車両への更新は国補助もあり導入が進んでいます。</p> <p>×路線バス車両については更新時期に合わせての低床小型化するための明確な計画がなく、なかなか進んでおりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・UD タクシー 6 台 (R02 現在) ・福祉タクシー 4 台 (R02 現在) ・バス車両 全車両 28 台中 ノンステップ 3 台、ワンステップ 8 台、小型車両 4 台 (R02 現在) 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費が掛かることから、車両更新時等に車両のバリアフリー化を促進する
<p>○導入した路線バス小型車両には、以前の車体カラーを利用した塗装を実施しました。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス小型車両の旧頸城自動車カラーリング H30 4 台 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある車両について検討する

<p>⑧-4 わかりやすい案内や情報提供</p>	<p>事業32 わかりやすい乗換等の案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光客等来訪者にとってもわかりやすく、目的地の最寄り駅やバス停留所、そこに至る路線や行き先、利用可能な運行時刻、利用方法、乗換方法、運賃などを案内できるよう案内方法を改善します。 ○地域公共交通の再編に合わせ、利用目的に応じた公共交通の使い方の提案や、地域のニーズに合わせた公共交通マップ等の媒体を適宜作成更新し、継続的な情報発信を行います。 ○公共交通利用のメリットや公共交通利用のモデルケース等を合わせて掲載することで、モビリティ・マネジメント関連事業でのコミュニケーションツールとしての活用を図ります。 ○当市に関わる全ての交通を分かりやすく表現した公共交通マップや利用ガイドの作成や、市ホームページや糸魚川駅デジタルサイネージ等の様々な媒体を通じ、統一的な表現のもと情報発信を行います。 ○地域公共交通の利用をためらう原因となるわかりづらさや不安を解消するため、問合せや相談を気軽にできる環境を整えます。 	<p>実施中</p>
	<p>事業33 定期的でわかりやすい情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通再編に向けた取り組みについて、継続的に情報発信することにより、再編について市民との合意形成を図ります。 ○地域公共交通を維持確保することが大変厳しい状況であることや利用状況、収支状況の推移などを、広報やホームページにより市民に定期的にわかりやすく情報提供します。 	<p>実施中</p>
<p>⑧-5 MM手法を取り入れた積極的な啓発活動と主体的な利用促進</p>	<p>事業34 市民等に出向き寄り添う利用促進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バス事業者と市が連携し、「路線バス出張サロンよるまいか～」を開催します。 ○開催希望団体の元に出向き、情報提供や不安解消などの対話機会を創出します。 ○バス事業者による定期券やバスカード等の出張販売を実施します。 ○モビリティ・マネジメントの手法を取り入れてプログラムを構成し、対話的な取組を通じて公共交通の利用に対する意識の変化を促します。 	<p>実施中</p>
	<p>事業35 バスの乗り方や公共交通利用マナーの学習機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○路線バスの乗り方やバス車両等の説明、また乗車体験ができる「バス教室」を各年齢層に応じて開催します。 ○モビリティ・マネジメントの手法を取り入れてプログラムを構成し、公共交通の利用意識変容を目指します。 	<p>実施中</p>
	<p>事業36 イベントと連携した利用機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○糸魚川駅周辺で開催される「おまんた祭り」などの大型イベントに合わせ、「ワンコインバス」を実施します。 ○わかりやすく廉価で利用しやすい運賃（1回の乗降につき大人100円、小児50円）設定による終日運行とします。 ○実施にあたり、地域公共交通全体で連携します。 	<p>実施中</p>

<p>○ダイヤ改正時に地区別乗換時刻表を作成し配布しました。 ○乗換検索サイトへの運行ダイヤデータ提供し、スマートフォンでの乗換検索が可能になっています。 ×統一フォーマットでのバスデータの作成はできおりません。 ×スマートフォンでの乗換検索について周知不足となっています。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗継時刻表 …H31 から実施 ・地区別乗換時刻表 …R02 から作成、配布 ・乗換検索サイトへのデータ提供 …ジョルダン、ナビタイム 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通ガイドの作成を検討 ・年代に応じた様々な媒体での情報発信を強化
<p>○各地域での意見交換を実施し、厳しい現況について周知しております。 ×公共交通の厳しい状況を広報誌やHPを使った広い周知は実施しておりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区意見交換会 H29～R02：合計127回 2,721人参加 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPなどを利用し、分かりやすい情報提供を
<p>○運行事業者が主体となり出張対応を実施しております。 ×積極的な周知や実施には至っておりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張対応 実施 	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と市民がより近い関係になるよう積極的な取り組みを促す
<p>○運行事業者が主体となりバス教室を実施しております。 ○イベントと連携し、鉄道への関心を高める体験活動を実施しました。 ×小学生以下を対象としていることが多く、幅広い年代へのモビリティ・マネジメントに至っておりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス教室 H29～R02：合計19回 363人参加 ・鉄道体験活動等 えちごトキめき鉄道にて「雪月花・駅施設見学会」受入れ R02.10月鉄道まつりにて、新幹線や在来線の施設見学等実施 「マナーアップキャンペーン」による乗車マナー向上 	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた団体が利用しており、より広く実施できるよう改善する。
<p>○イベント開催に合わせ、路線バスのワンコインバスやトキ鉄臨時運行を行いました。 ▲イベントは土日が多いが、バス運行便数が少なく設定されており、乗ること自体ができない地区もありました。 ▲実施結果への考察がなく、事業改善の取り組みができておりません。</p> <p><実施></p>	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果を分析し、さらに効果的な事業等検討する

	<p>事業 37 商業施設等と連携した利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商業施設、医療機関、行政機関等と連携し、地域公共交通利用によるおでかけがより楽しく、便利で快適になるよう利用促進を図ります。 	実施中
	<p>事業 38 高齢者、障害者及び小中学生の地域公共交通を活用した外出等支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者、障害者及び小中学生の地域公共交通を活用した外出や通学等について支援します。 ○路線バスの大変お得な乗り放題定期券「高齢者・障害者おでかけバス」及び「こどもフリーバス」を利用する場合は市が購入費用の一部を助成します。 ○高齢者・障害者のうち、身体的事情等により路線バスを利用できない方を支援する場合は、タクシー券を支給します。 	実施中
⑧-6 高齢者による交通事故の抑制と公共交通利用促進	<p>事業 39 高齢者の運転免許自主返納に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国的に頻発している高齢者が加害者となる交通事故を抑制するため、高齢者の運転免許証の自主返納を促進します。 ○運転免許証返納後の公共交通利用への転換と利用継続を促進するため、一定の条件を満たした返納者に対し、バスカード等を配付します。 	実施中
⑧-7 路線バス等運賃の検討（乗継運賃、わかりやすい運賃体系）	<p>事業 40 路線バス等運賃の検討（乗継運賃、わかりやすい運賃体系）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○路線バス等の乗継割引を考慮した運賃体系を検討します。 ○路線バスの運賃体系について、現在の10円単位の距離制運賃から、わかりやすい運賃体系への転換について検討します。 	検討段階

<ul style="list-style-type: none"> ・ワンコインバス H29～R02：合計 9 回 ・トキ鉄 イベント対応臨時列車 H30. 8 月 臨時列車「おまんた祭り号」運転 	
<p>○糸魚川総合病院では通院で路線バス利用者に対して 100 円バス利用券を配布しております。 ×商業系や行政との連携はできておりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸魚川総合病院では通院で路線バス利用者に対して 100 円バス利用券を配布 ・広報いといがわにてバス利用について記事掲載 (H30. 10 月号) 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用分析から連携できる施設等について整理する
<p>○「高齢者・障害者おでかけバス」及び「こどもフリーパス」、「高齢者おでかけ支援タクシー券」を発行し、外出支援を実施しています。 ▲事業についての市民の認知度が低く、周知方法の改善が必要です。 ▲どういった方が利用しているか、整理分析ができておりません。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者おでかけ支援（おでかけバス） H29～R02：合計 8, 446 件 20, 788 千円助成 ・高齢者、障害者お出かけ支援（タクシー券） H29～R02：合計 5, 388 件 18, 762 千円助成 ・高齢者、障害者お出かけ支援（あさひまちバス券） H29～R02：合計 213 件 850 千円助成 ・こどもフリーパス（小学生） H29～R02：合計 93 件 100 千円助成 ・こどもフリーパス（中学生） H29～R02：合計 870 件 1, 862 千円助成 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各支援について状況分析をおこない改善を行う
<p>○高齢者運転免許自主返納支援事業を実施し、2 万円分のタクシー券、バスカード等を支援しています。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者運転免許証自主返納支援事業 H29～R02：申請 603 件 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して免許返納できるよう継続する
<p>▲現在、見直し案を検討・作成中であり、計画期間内で取り組み予定です。</p> <p><実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R01 コンサル委託にて検討資料作成 ・R02 コンサル委託にて具体案の作成 	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間中に見直しを行う